



キビタン©福島県

ふくしま教育ニュース

2024年7月 第62号 編集・発行 福島県教育委員会

ふくしまを創る若者のプラットフォーム構築事業

次の時代を生きる若者の力は、魅力にあふれ、活力ある福島県を創るために欠かすことはできません。高校生が取り組む地域課題探究活動は、豊かな福島県を創る若者を育てることに大きな力を発揮します。本事業では4つの柱により、各学校で行われている地域課題探究活動を支援します。

1つめの柱 地域ネットワーク推進委員を 配置します

各県立高校の地域課題探究活動を推進するため、県内7地区に地域ネットワーク推進委員を配置して、探究活動への助言や思考力育成の授業を実施します。

2つめの柱 若手人材と地域人材の 活用を促します

地元の卒業生や大学生などの若手人材や、地域との関わりがある地域人材を活用した教育活動を推進するため、必要な支援を行います。

3つめの柱 地域に関わる仕事を 教材化します

「若手人材」や「地域人材」の方々に取材して、地域に関わる仕事の内容等について学ぶことができる教材を作成します。

4つめの柱 交流し刺激し合う機会を設けます

高校生が地域課題探究活動を発表し活動を深める機会とするため、地域課題探究活動勉強会やふくしま高校生社会貢献活動コンテストを開催するほか、マイプロジェクト福島県summitへの参加支援を行います。また、教員が学校内の体制やカリキュラムを考えることができるよう、先進校の取組を学ぶ研修会を実施します。



グローバル人材育成事業とご寄附のお願い

福島県教育委員会では、将来、本県の発展に貢献するグローバル人材を育成することを目的とした新たな事業を立ち上げました。

今年度は、イギリスの大学、UCL (ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン) のプログラムに生徒3名を派遣し、文化交流や意見交換をしたり、世界トップクラスの講義を体験したりします。

今後は、産学官で連携した地域協議会で生徒の募集や選考を行うなど、高校生の海外での探究活動の更なる支援に取り組みます。

このような取組を推進するため、福島県教育委員会では「福島県グローバル人材育成基金」を設置し、県内外の企業様や個人の皆様からのご寄附を募っています。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



高校教育課HP



UCLプログラム派遣事業



福島県グローバル人材育成基金へのご寄附のお願い

県立安積中学校開校に向けて

安積が目指す中高6年間の学び

県立安積中学校では、生徒の「なぜ？」という好奇心を全教科で大切にしながら、STEAM教材の活用や対話的な活動などを通して「ワクワク」「ドキドキ」する学びを行います。

①「知る」こと（具体）と②「考える」こと（抽象）を行き来することで、わかったときの喜びと新たな好奇心を生み出し、主体的な学びの連鎖の中から本質の理解へと誘い、未知のものへ応用できる③「使う」（創造的活用）力を授業だけではなく、すべての教育活動で育みます。

安積高校進学後は、安積の学びを体現するリーダーとして、県立安積中3年間で培った力を他者との協働のなかで発揮し、さらに高めることで、自らの目標の達成を目指します。



安積の学び

県立安積中学校の校舎を建設中です！



中学校棟完成イメージ

中学校棟は、令和7年1月の完成を目指し、現在安積高校敷地内に建設中です。

中学校棟と高校棟は渡り廊下でつながり、図書館などの施設を中高生が共用することで、互いに刺激を受けながら高め合える環境を創っていきます。中学校生活の中心となる3階には学級教室のほか、学年ごとの交流ラウンジや階段教室、少人数教室があり、自由な発想で学びを深めることができます。



最新情報は、県立安積中学校HPに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

令和7年4月 いわき総合高校と好間高校が統合して
新たに**いわき総合高等学校**となります。

新たな総合学科の高校が誕生！

キャッチフレーズ

極めよ！君の“やりたい！”を
生徒の個性が共生して、成長するための挑戦をする学校

設置学科と定員

総合学科
1学年240名
(6学級)



現在のいわき総合高校の校舎を使用します。

1年次

共通の内容を学習

『産業社会と人間』

2・3年次

目指す進路に応じて系列・コースを選択

6系列の学び 10コースの学び

人文・国際	文系
自然科学	理系
生活福祉	福祉
スポーツ健康	保育
芸術・表現	体育
情報	音楽
	美術
	演劇
	情報
	商業

『総合的な探究の時間』

課題研究

適性を見極めた進路指導

コミュニケーション力・表現力を高める学び
・ワークショップや発表活動の充実
・DX/ハイスクールによる、各分野と情報分野とが連携したデジタル人材育成も推進

地域や大学等と連携した学び
・いわき市内の大学・短大等との連携
・いわき市内（好間、内郷）を学習フィールドとして、自分が暮らす地域への理解を深め、学びの成果を地域に還元

きめ細かな学習指導

多様な進路の実現

法律、外国語、看護、
栄養、福祉、幼児教育、
理学療法、体育教育、
音楽、美術、演劇、
情報、ビジネス等
多様な分野への進学
(大学・短大・専門学校等)

公務員（行政、警察官、自衛隊等）
や企業等への就職

「キャリア教育」と「探究活動」

県立安積中学校開校に向けて

安積が目指す中高6年間の学び

県立安積中学校では、生徒の「なぜ？」という好奇心を全教科で大切にしながら、STEAM教材の活用や対話的な活動などを通して「ワクワク」「ドキドキ」する学びを行います。

①「知る」こと（具体）と②「考える」こと（抽象）を行き来することで、わかったときの喜びと新たな好奇心を生み出し、主体的な学びの連鎖の中から本質の理解へと誘い、未知のものへ応用できる③「使う」（創造的活用）力を授業だけではなく、すべての教育活動で育みます。

安積高校進学後は、安積の学びを体現するリーダーとして、県立安積中3年間で培った力を他者との協働のなかで発揮し、さらに高めることで、自らの目標の達成を目指します。



安積の学び

県立安積中学校の校舎を建設中です！



中学校棟完成イメージ

中学校棟は、令和7年1月の完成を目指し、現在安積高校敷地内に建設中です。

中学校棟と高校棟は渡り廊下でつながり、図書館などの施設を中高生が共用することで、互いに刺激を受けながら高め合える環境を創っていきます。中学校生活の中心となる3階には学級教室のほか、学年ごとの交流ラウンジや階段教室、少人数教室があり、自由な発想で学びを深めることができます。



最新情報は、県立安積中学校HPに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

令和7年4月 いわき総合高校と好間高校が統合して
新たに**いわき総合高等学校**となります。

新たな総合学科の高校が誕生！

キャッチフレーズ

極めよ！君の“やりたい！”を
生徒の個性が共生して、成長するための挑戦をする学校

設置学科と定員

総合学科
1学年240名
(6学級)



現在のいわき総合高校の校舎を使用します。

1年次

共通の内容を学習

『産業社会と人間』

2・3年次

目指す進路に応じて系列・コースを選択

6系列の学び 10コースの学び

人文・国際	文系
自然科学	理系
生活福祉	福祉
スポーツ健康	保育
芸術・表現	体育
情報	音楽
	美術
	演劇
	情報
	商業

『総合的な探究の時間』

課題研究

適性を見極めた進路指導

コミュニケーション力・表現力を高める学び
・ワークショップや発表活動の充実
・DX/ハイスクールによる、各分野と情報分野とが連携したデジタル人材育成も推進

地域や大学等と連携した学び
・いわき市内の大学・短大等との連携
・いわき市内（好間、内郷）を学習フィールドとして、自分が暮らす地域への理解を深め、学びの成果を地域に還元

きめ細かな学習指導

多様な進路の実現

法律、外国語、看護、
栄養、福祉、幼児教育、
理学療法、体育教育、
音楽、美術、演劇、
情報、ビジネス等
多様な分野への進学
(大学・短大・専門学校等)

公務員（行政、警察官、自衛隊等）
や企業等への就職

「キャリア教育」と「探究活動」

ふくしまを十七字で奏でよう

「ふくしま絆ふれあい支援事業」の作品を今年度も募集します。
子どもと大人、子ども同士の二人一組でペアを作り、日常生活などでの共通体験をととした「絆部門」、ふくしまへの想い、復旧・復興などに関する「ふるさと部門(県内外から応募可能)」に作品をお寄せください。

- 募集期間 県内：幼保・小中学校 6月10日(月)～8月30日(金)
：高校・特別支援学校 6月10日(月)～9月6日(金)
県外：全 校 種 6月10日(月)～9月6日(金) 当日消印有効
- 応募方法 応募用紙は各学校配布のものまたは社会教育課ホームページよりダウンロードしてご利用ください。(高校生は応募フォーム可)
- 応募先 作品は各学校またはお住まいの地域の教育事務所、
県外の方は直接社会教育課へ御提出ください。
※詳しくは、社会教育課の
ホームページをご覧ください。



令和5年度 最優秀作品より

「絆部門」

ぼつぼつ ばあちゃんだけには 話せちゃう (孫)
聞くだけで 孫の表情 柔らかく (祖母)

「ふるさと部門」

野馬おいに ぼくも出たいな とうさんと (子)
背に指した 旗の重さも 伝えたい (父)

ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト出場者募集!

- 対象** 福島県内の高校に在学する高校生
- 本選** 9月14日(土) ラコパふくしま
- 応募期間** 7月1日(月)～7月19日(金) 消印有効
応募後に書類審査を行い、本選に出場する団体が決まります。
- 応募方法** 大会の応募要項、応募票は一般社団法人
ふくしま学びのネットワークホームページ
(<https://www.fks-manabi.net/>)に掲載しています。



ご存知ですか? 読書バリアフリー

福島県立図書館では、「読み」に関する障がいのあるなしにかかわらず、誰もが読書できる読書バリアフリー社会の実現に向けて取り組んでいます。「読み」の困難に応じた資料の提案や学校での支援など、詳しくは県立図書館へお問い合わせください。

取組例

- 録音資料・再生機器の貸出
- 特別支援学校図書館の運営相談



↑公式note紹介記事

福島県立美術館 開館40周年記念展

「みんなの福島県立美術館 その歩みとこれから」

昭和59年7月に開館した県立美術館は今年40周年を迎えます。本展では、美術館のこれまでの歩みをコレクションや当時の資料とともに振り返ります。美術館のこれからについて一緒に考えてみませんか。



会期 令和6年8月3日(土)～9月16日(月・祝)
※詳細は県立美術館HPでご確認ください。

福島県立博物館 夏の企画展

「縄文DX -会津・法正尻遺跡と交流の千年紀-」

磐梯山麓の法正尻遺跡は、縄文時代中期の約1000年間の長きにわたり営まれたムラの跡です。出土品は国の重要文化財の指定から今年でちょうど15周年を迎えます。ドラマチックな装飾をもつ数々の縄文土器や土偶などから、地域を超えたダイナミックな交流の様子を読み解いていきます。他県の著名資料も博物館にやってきます。Deepな縄文世界によこそ!



会期 令和6年7月6日(土)～9月1日(日)

ふくしまっ子ごはんコンテスト～自分の朝食や食習慣を見直してみませんか～

献立の作成や食材の準備、調理等、ごはんを主食とした一連の食事作りを通して、生活習慣の改善や朝食摂取を基本とした望ましい食習慣の形成を図るとともに、自ら健全な食生活を実践する力(食べる力)の育成と、米を中心とした日本型食生活や地場産物について関心を高めることを目的に実施します。小学生は朝食作り、中学生は弁当作りを実践する機会として、アイデアあふれる献立を募集しています!

- *応募期間 令和6年7月1日(月)から令和6年8月26日(月)まで
- *応募方法 応募用紙に材料や作り方を書いて、小学生は「(作った)1食分のごはん」中学生は「(作った)ごはんのお弁当」の写真を貼ってください。
- *応募先 8月26日(月)までに学校の担当の先生へ提出してください。

 ← 詳しい応募方法はココ!


令和5年度小学校上学年の部
最優秀作品
**麺のパワーで
暑さに負けない
はまなかあいつ朝ごはん**



令和5年度中学校の部
最優秀作品
**めざせお弁当もSDGs!
暑い夏をのりきる
栄養満点お弁当!**

※県教育委員会ではHP等の掲載広告を募集しています。詳しくは

ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

令和6年4月1日 制度改正

掛金そのまま 保障をアップデート!

暮らしの安心を支える県民共済が、より大きな安心をお届けできるよう掛金そのまま保障を見直しました。すでにご加入の方も手続きなしで新しい保障内容が適用されます。

総合保障2型

「病气入院」の保障額をアップ!

病气入院 1日当たり **4,500円** → **5,000円**

入院保障2型

「先進医療」の支払限度額をアップ!

先進医療 18歳～60歳 18歳～60歳
1万円～150万円 → **1万円～300万円**
60歳～65歳 60歳～65歳
1万円～75万円 → **1万円～150万円**

手術 手術保障の対象範囲を拡大!

都道府県民共済グループ

福島県民共済

☎ 0120-282-869

【受付時間】平日 9:00～17:00

【共済取扱団体/福島県認可】
福島県民共済生活協同組合
〒960-8031 福島市栄町6-6 福島セントランドビル9F

くわしい保障内容は
ホームページを
ご覧ください。

